

令和 8 年度奈良県高等学校総合体育大会柔道競技 兼
令和 8 年度全国高等学校総合体育大会柔道競技奈良県予選 実施要項

主 催 奈良県高等学校体育連盟
後 援 奈良県柔道連盟
日 時 令和 8 年 6 月 6 日（土） 11 時 開会式 男子・女子団体試合
令和 8 年 6 月 7 日（日） 11 時 男子・女子個人試合
計 量 令和 8 年 6 月 6 日（土） 非公式計量 9 時 40 分～10 時 00 分
公 式 計 量 10 時 00 分～10 時 20 分
大会会場で計量を行う。
会 場 ロート奈良第 2 武道場
奈良市法蓮佐保山 4-6-3 TEL 0742-27-6163

参加申し込み及び抽選会

- 1 日 時 令和 8 年 6 月 5 日（金） 午後 2 時（時間厳守）
- 2 抽選会場 奈良県柔道連盟事務所 順正館
天理市川原城町 358 TEL 0743-62-1315
- 3 申込方法 別紙申込用紙に必要事項を記入し、抽選会申し込むこと。
郵送又は電話による申し込みは受理しない。

試合要項

- 1 競技規則（最終決定は、抽選会で決定する。）
 - (1) 最近の国際柔道連盟試合審判規定による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準
 - ① 団体試合は、「有効」又は「僅差」（「指導」差 2）以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
 - ② 個人試合は、「有効」又は「僅差」（「指導」差 2）以上とする。試合終了時に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
 - (3) 試合時間は、団体試合、個人試合ともに 3 分間とする。但し、延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
- 2 競技方法（最終決定は、抽選会で決定する。）
 - (1) 団体試合（男子・女子、点取り試合）
 - ① 試合は、トーナメント戦とする。
 - ② トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ア 判定基準
※ 選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「有効」または「僅差」以上とする。
僅差は、「指導」差が 2 以上とする。
 - イ 「技の内容」と「指導」の重み
※ 【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。
 - ウ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定
以下の項目に従って勝敗を決定する。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア)で同等の場合は、「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。この場合、「不戦勝ち」「棄権勝ち」「反則勝ち」も「一本勝ち」と同等に扱う。

(ウ) (イ)で同等の場合は、「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

(エ) (ウ)で同等の場合は、「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

(オ) (エ)で同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。

(カ) 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、勝敗を決する。延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。このことは、1回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。

(2) 個人試合

① 体重別試合とする。

② 試合は、トーナメント戦とする。

※「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、勝敗を決する。

延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。このことは、1回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。

3 参加資格

(1) 奈良県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒である。

(2) 他は全国高等学校総合体育大会柔道競技の参加資格に準じる。

4 参加制限

(1) 団体試合

① チーム編成は1校1チームとし、全日制・定時制・通信制課程の混成は認めない。

② チームの人員は、次のとおりとする。

男子は、監督1名・選手5名・補欠1名の7名とする。但し、選手は3名から5名でも良い。なお、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける）とする。

女子は、監督1名・選手3名・補欠1名の5名とする。但し、選手は2名でも良い。なお、2名の場合は、後ろ詰め（先鋒を空ける）とする。

また、男女とも補欠はいなくても良い。

尚、選手の配列は自由とする。

③ 外国人留学生のチーム人員は、男子・女子ともに1名以内とする。

(2) 男子個人試合

① 体重区分は次の7階級とする。

[60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級]

② 各階級1校8名以内とする。

③ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

(3) 女子個人試合

① 体重区分は次の7階級とする。

[48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級]

② 各階級1校8名以内とする。

③ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

5 表彰

(1) 上位4校及び4名は表彰状を授与する。

(2) 優勝校及び優勝者は、令和7年度全国高等学校総合体育大会柔道競技に出場することができる。